

1年部”Where there is a will, there is a way.”より

新年が明けましてはや一か月が経とうとしています。3学期始業式が始まってすぐの進研記述模試、修学旅行と、今学期は普段よりも時の流れが速く感じる学校生活になることでしょう。3年生は雪の中、センター試験を受験しましたし、英検やハイレベル模試を受けた人もいます。次学年への準備時期、「ゼロ学期」と呼ばれる所に今いる訳です。

ある意味、「非現実的」な日々連続であった修学旅行から、もう現実世界へと気持ちは戻ってきましたか？早速英単語テストの勉強はしなければならない、週末課題として進研模試の解答解説を見て見直し復習をしなければならない…現実の高校1年生は忙しいのです。

という事で、「進研模試解答解説」見てくれましたよね？表紙に「どこまで模試でできていたらいいの？」という見出しがありました。3教科とも高1学習の重要ポイントが出題されていて、又ケヤモシが発見しやすくなっているのが今回の模試、との記述がありました。そしてまずは「解答解説」を「読むこと」から総復習を始める、ともありました。高2のスタートをスムーズに切るためにも、この「ゼロ学期」に必ず復習を！

2年部より

『英語ができるようになるために』 灘中・灘高 教諭 木村達哉先生の講演より

みなさんは、右の①には何が入ると思いますか？

木村達哉先生の生い立ちから始まり、①に入る言葉まで半分近くの間を割かれてお話をしてくださいました。とてもユーモアあり、また元気をもらえる話でした。講演会が終わって学習センターを出る生徒の表情がとても紅潮していたのは単に部屋の温もりのためだけではなかったと思います。①に入る言葉は「動機」。

先生自身が大事な節目にとってもよく考えられ、物事を突き詰められていくところや志をもっていらっしゃるところも心を打たれる部分ではなかったかと思います。

生徒から「暗記が苦手で、どうすればいいか」という質問に、暗記が苦手な生徒はいない、時間より反復回数が大事、ポイントは①時間を切る、②声を出せ、ということでした。実際にみんなで30秒で6語を覚えてみました。発音・アクセントの確認のできるCDや自分用の単語帳づくりなど、講演会後の個別の質問にも丁寧に答えていただきました。他学年の皆さんは是非2年生にどんな話だったか尋ねてみてください。

- ①
- ②知識
- ③量 → 論理的に考える力

3年部より

1月13、14日のセンター試験が終わり、週末には三者面談を行い志望校を決定し、いよいよ2次試験に向けて受験勉強に励んでいます。まず、今後の日程ですが、まずは、大学に出願をします。写真や書類等準備が大変ですので前もって知っておいてください。受験日については、国公立の前期試験と後期試験の日程は変わりません。

国公立の日程

- ・推薦Ⅱ（センターの結果を使った推薦） 2月3日
- ・前期試験 2月25、26日
- ・後期試験 3月12日

私立大学は学校によって異なりますが、早いところでは1月後半から受験が始まります。私立大学を考えている人はしっかり出願日程、受験日を調べた上で計画的に無理のないようにしていきましょう。看護系に至ってはセンター試験の翌週には受験というところもあるので、前々からの準備が大変になります。先を見越した計画と早めの準備がポイントになってきます。

さて、3年生は今特別時間割で自分が受験に必要な教科を自分で選んで受講しています。自分が〇〇大学〇〇学部を受験すると決めたら、まずは必要な科目を調べます。それに基づいて授業を選びます。空き時間は、視聴覚室や自習室で自学をしています。朝課外はありませんが、朝教室をのぞいてみると、多くの3年生が黙々と自学をしています。誰に言われるわけでもなく自ら朝早く登校し学習に励む姿に3年生の熱意を感じます。進路室にも常に3年生が大学の過去問題を調べに来ています。ぜひ1、2年生もその姿を見ながら来年、再来年の自分の様子を思い浮かべてみてください。

1、2年生は「赤本」を見たことはありますか？

進路室に入って右側の棚に各大学名の書いてある本です。中には受験内容、過去問題が載っています。3年生はこれを見て、どのような問題が出るのか、そこから傾向などを考えて勉強しています。1、2年生もぜひ進路室に来て自分の興味のある大学がどのような問題を出すのか調べてみてください。多くの大学をそろえています。また、先輩方の受験レポートもありますので、実際に試験を受けた先輩の感想も見ることができます。自分の将来をしっかりと見つめていきましょう。